

平成26年度 消防本部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
各種災害から住民の生命、身体及び財産を保護し、住民と一緒にとなって地域の消防防災力を強化していく。	1. 火災予防対策の推進	・住宅火災からの死傷者を未然に防止し、被害の拡大を防止する。 ・防火対象物・危険物施設における火災予防の推進 ・事業所における自衛消防隊の育成指導	・住宅用火災警報器の設置促進と、出火防止及び延焼拡大防止の啓発活動を実施する。 ・防火対象物における防火管理対策、危険物施設における安全対策の整備指導及び消防関係法令の違反は正指導を推進する。 ・日常的な防火管理と災害時における活動要領等の指導を推進する。	・広報誌に26回掲載 ・設置率84.6% ・3件の住宅火災の内、死者0 ・査察対象(防火対象物、危険物施設)1155件の内、1053件の査察を実施し、適切な指導を行った。 ・事業所での各種訓練及び防火指導は、延べ343回実施し、延べ18253名が参加した。 ・11月に自衛消防隊訓練大会を開催し、18事業所から22チーム52名が訓練に参加了。	B	・継続して広報を実施する。 ・査察実施計画中の未実施分は、次年度に優先実施とする。 ・訓練未実施の事業所に訓練の実施を呼びかける。
	2. 災害に強い市民づくり	・市民のための救急講習会を積極的に開催する。	・AEDの取扱いを含めた普通・上級救命講習を実施する。	上級救命講習会を6回実施し28名に修了証を交付した。 普通救命講習会を100回実施し1637名に修了証を交付した。	A	今後も継続して実施する。
	3. 災害対応の充実・強化	・震災時における消防力の強化 ・常備消防力の充実 ・精鋭な部隊の育成と強化	・消防水利確保のため耐震性防火水槽を計画的に設置する。 ・化学消防ポンプ自動車を更新する。 ・教育研修受講により消防活動に必要な知識・技術の習得を図り、実践に即した各種訓練を実施する。	平成27年度設置予定の耐震性貯水槽の測量設計を終えた。 消防化学車を購入し消防力の強化を図った。 消防救急活動に必要な資格取得講習7資格7名が受講し資格取得した。 消防救急活動に必要な講習会6講習16名が受講し知識技術の向上を図った。	A	平成27年度に耐震性貯水槽(40t)2基を設置する。 今後も継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 消防本部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命  組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目  今年度取り組む事項	C 設定理由・考え方  どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	D 活動(手段)  重点目標項目を実現するため行う活動や手段	E 目標の達成評価  目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	F 目標の達成度  ※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	G 今後の取り組み  目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4. 消防団員の加入促進	・現場活動が可能となる最低人員の確保を図る。	・広報やイベントを通じて勧誘活動を実施する。	・各自治会や区で行われたイベントや集会で消防団員の勧誘活動を行った。	B	・今後も継続して実施する。
	5. 職員の意識改革	・市民に信頼される消防行政の推進を図る。	・各所属に服務リーダーを置き、服務規律を遵守する。	・職員一人ひとりが服務規律を遵守して意識改革に努めている。	A	・今後も継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】